



学校だより 7月号

おおねぶ

令和8年7月1日(水)
内灘町立大根布小学校

校訓

心美しく たくましく

たくましい心と体



校長 堀井 洋一

梅雨ならではの蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちは、毎日元気に過ごしています。体育館や運動場で身体を動かしたあとは汗だくになって教室に戻ってきています。体育の授業や休み時間の後に子どもたちが水筒のお茶を一気に飲んでいる様子を見ると熱中症予防へのアンテナを高くして教育活動をすすめていくことの大切さを実感します。

また、報道等でご存じかと思いますが、本校は学校プールの老朽化に伴って6月から町営プールでの水泳学習を行っています。一学期は1～3年生が実施しています。水泳指導を行ってくれる町営プールのコーチや送迎バスの運転手さんへのあいさつなどマナーの大切さを学ぶ機会にもなっています。今後も学年ごとに時期を分けての授業を進め、11月までに全ての学年が行う予定です。どの学年も楽しい水泳学習になるように配慮していきます。

さて、一学期も残り3週間ほどになりました。これまでの学校だよりでお伝えしたように、礼儀正しいあいさつをする子が多いこと、人のために働く子が多いこと、思いやりのある優しい行動が多いこと、そして目標に向けて努力を惜しまない子が多いことが大根布小学校のよさだと考えています。その一方で、相手の心を傷つけてしまう言動が原因でケンカになってしまったり、自分の苦手なことや嫌いなことがあったときにさけてしまうこともあります。

学校は子どもにとって「小さな社会」ですから、いつでも自分の思い通りにはいくとは限りません。学習や友達関係の中でストレスがかかることやいやなことが起こって当たり前です。子どもたちには、学校生活の中での問題に対して自分の力で何とか解決したり、不安と付き合ったりする「たくましい心」を身につけてほしいと思います。

そのために私たち大人がしなくてはいけないことは、「子どもの話を聞いてあげること」「どうしたいか。どうすればいいかを、子ども自身に考えさせること」そして、「自分で解決しようとする姿を見守り、その背中を押してあげること」だと思います。つまり、大人の役割は先回りして子どもの問題を代わりに解決するのではなく、自分で進もうとするとする子どもの理解者・伴奏者でいることです。

学校では、教師が「答え」を出すのではなく、「子どもの思いを聞き、どう行動するか、したいかを考えさせ、励ますこと」を意識しています。

保護者の皆様におかれましても、お子様の姿を見守り励ましていただきますようよろしくお願いします。

不審者対応訓練を実施しました 6/25(金)

津幡警察署の方を招いて、校内への不審者侵入を想定した対応訓練・避難訓練を実施しました。万一の時には、放送に従って教室で静かに待機することを学びました。また、登下校時に不審者と遭遇したときにどのようにして逃げたらいいかについてもお話を聞きました。自分の命を守る行動について考える機会になりました。

子どもたちの様子をホームページで紹介しています。是非ご覧ください。

<https://cms.ishikawa-c.ed.jp/oonebe/>



大根布小HP



【通知表の記述について】

通知表の「特別の教科道徳」「総合的な学習の時間」については、年間を通した学習の様子を3学期に記入します。日々の学習の様子については、「道徳ノート」や「総合の成果物」等をご覧いただくこととなります。3, 4年生の「外国語の様子」については、毎学期記入します。また、ご不明な点等がありましたら、学校までお問合せください。

未来へつむぐ家族の手紙

今年度も県教育委員会主催の「未来へつむぐ家族の手紙」に取り組みます。お子さんが、7/8(水)家族の方へお手紙を書いて持ち帰りますので、お返事を書いていただき、学校に提出してください。切手や糊付けは不要です。ご協力をお願いいたします。

〆切 7月15日(水)



7月の教育センター相談日

3日(金)・10日(金) 13:30～ 14:30～ 15:30～
公認心理師・臨床心理士 橋本 玲子先生

9日(木)・16日(木) 13:30～ 14:30～ 15:30～
公認心理師・臨床心理士 高村 梓先生

◇申込み(連絡先)町教育センター TEL076-286-5481

7月の校内相談室 スクールカウンセラー 日数谷美奈 先生

1日(水)・8日(水)・15日 9:30～12:30

